

令和3年3月14日

関係各位

東海柔道連合会

東海柔道形競技大会に関する申し合わせ事項

- 選手ゼッケン
全国大会においては必須であるが、東海においては当分の間努力規定とし、ゼッケン無しも可とする。
- 選手服装
全国形競技大会の要項では、全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）（赤ラベル）を着用することとなっているが、現状、東海大会では、ゼッケン同様努力規定とし旧規格の柔道衣も可とする。
- 審査員の派遣
 - ・審査員は、全柔連公認形審査員資格を有する者を原則とするが、事情によりそれに寄りがない場合は、審査する形に精通し、審査方法を熟知している者と県会長が認めた場合は可とする。
 - ・審査員は過去3年以内に講道館形講習を受講していること。
 - ・審査員は各県3名（計12名）派遣し、審査する形種別を予め指定して東海柔道連合に報告する。
- 競技方法
 - ・審査員は、各技（項目）を10点満点で採点、自県の選手も審査し採点する
 - ・各施技における4人の審査員の評点の内、最高点と最低点を除いた2人の評点の合計（小計）をその施技の得点とする。最高点又は最低点が複数（例：7, 7, 6, 6）あった場合、除く点はそれぞれ1つとする（例：7を1つ、6を1つ除く。この場合7+6=13点はその組の得点となる）
 - ・全審査員の採点を公開、可視化して公正・公平な審査体制を構築する。
 - ・審査後、協議事項が発生した場合に備えビデオ録画を行う。
- 順位の決定方法
 - ・合計点が1位を優勝とする。
 - ・1位が同点の場合、その対象組以外2県の審査員評価点の合計で決定する。
 - ・全てにおいて同点の場合は同位とする。
 - ・1位同位の場合は、代表決定を抽選で決める。
 - ・2位以下が同点の場合は、同位として次位を空位とする。